

# 在宅医療連携拠点チームかまいしの取組み ～チームかまいしの連携手法～



平成27年10月16日  
釜石市保健福祉部健康推進課  
地域医療連携推進室

在宅医療連携拠点チームかまいし  
連携コーディネーター 小田島史恵

# 釜石市

➤ 三陸大津波(M29、S8)、  
チリ地震津波(S35)、十勝沖地震津波(S43)

➤ 昭和12年:釜石市誕生

➤ 昭和20年:艦砲射撃で焦土と化す

➤ 昭和30年:1市4村合併で現在の釜石市となる

➤ 昭和38年:人口92,123人

➤ 昭和60年:新日鉄ラグビー部V7、第二高炉休止

➤ 平成元年:第一高炉休止

➤ 平成19年:釜石市民病院統廃合(閉院)

➤ 平成23年:東日本大震災

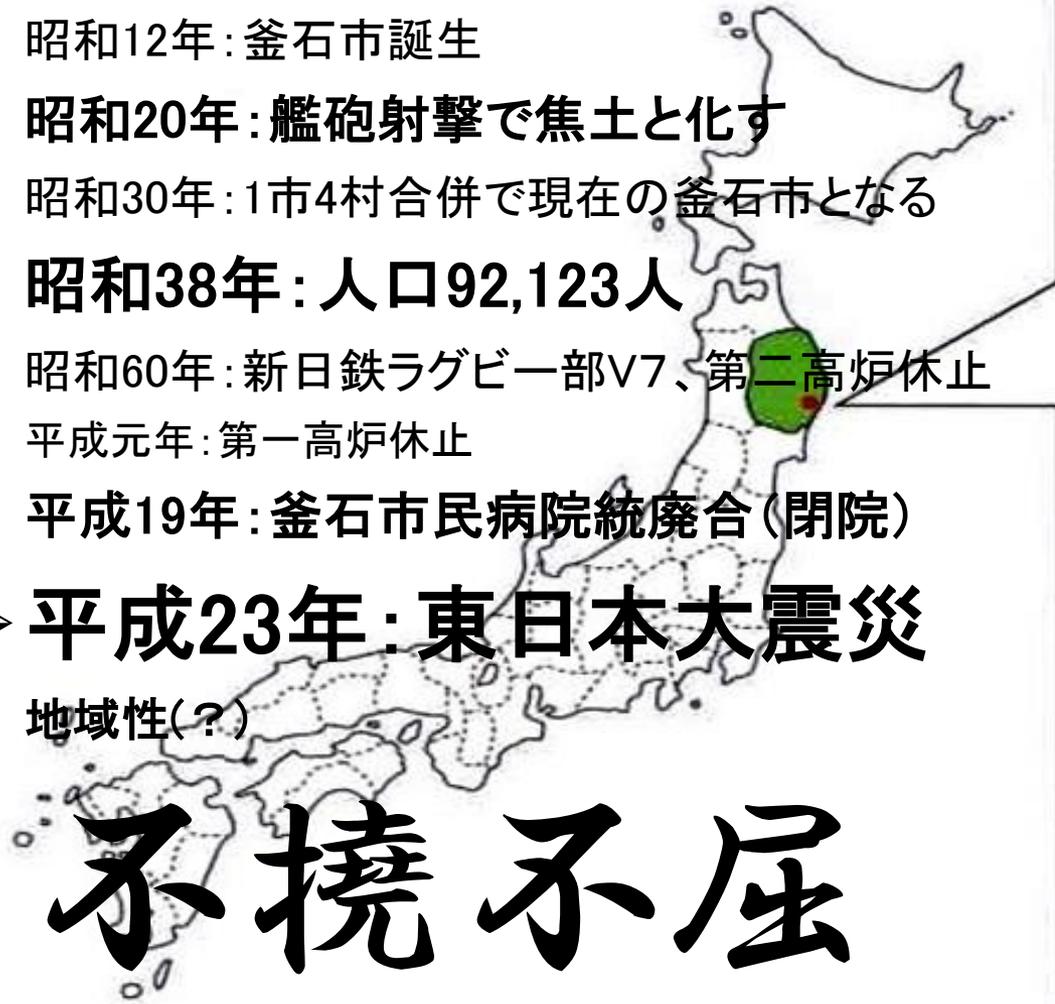
➤ 地域性(?)

不撓不屈

三陸復興国立公園のほぼ  
中央に位置する、鉄と魚の  
まち

岩手県

釜石市



# 岩手県の二次医療圏



## ◆釜石市

面積 441.32Km<sup>2</sup>  
人口 36,096人  
高齢化率 35.8%

## ◆大槌町

面積 200.59Km<sup>2</sup>  
人口 12,455人  
高齢化率 33.8%

(H27.6月末現在)

## 釜石医療圏

釜石市・大槌町

人口 48,551人

高齢化率 35.3%

# 医療資源・介護資源（釜石保健医療圏）

➤病院	6	
➤医科診療所	18	※内、在宅療養支援診療所 3
➤歯科診療所	19	
➤保険調剤薬局	20	
➤地域包括支援センター	2	（釜石市1、大槌町1）
➤居宅介護支援事業所	17	
➤訪問介護事業所	11	
➤訪問看護ステーション	3	
➤通所介護事業所	15	
➤特別養護老人ホーム	5	
➤グループホーム	10	

# 行政と三師会(医・歯・薬)との連携

**平成25年**

## 三師会新年交賀会

日時:平成25年1月23日(水)午後6時30分  
場所:ホテルサンルート釜石 2階

**平成26年**

## 三師会新年交賀会

日時:平成26年1月29日(水)午後6時30分  
場所:ホテルサンルート釜石 2階 鳳凰の間

**平成27年**

## 三師会新年交賀会

日時:平成27年1月29日(木)午後6時30分  
場所:ホテルサンルート釜石 2階 鳳凰の間

釜石医師会・釜石歯科医師会・釜石薬剤師会



# 在宅医療連携拠点チームかまいし

- ◆平成24年7月1日 **釜石医師会との連携により**  
厚生労働省モデル事業「在宅医療連携拠点事業」の採択を契機に  
「在宅医療連携拠点チームかまいし」を設置
- 地域医療・介護連携の専門部署として、市保健福祉部内地域医療連携部局に設置
- 医師会派遣のアドバイザー配置
- 連携コーディネーター配置

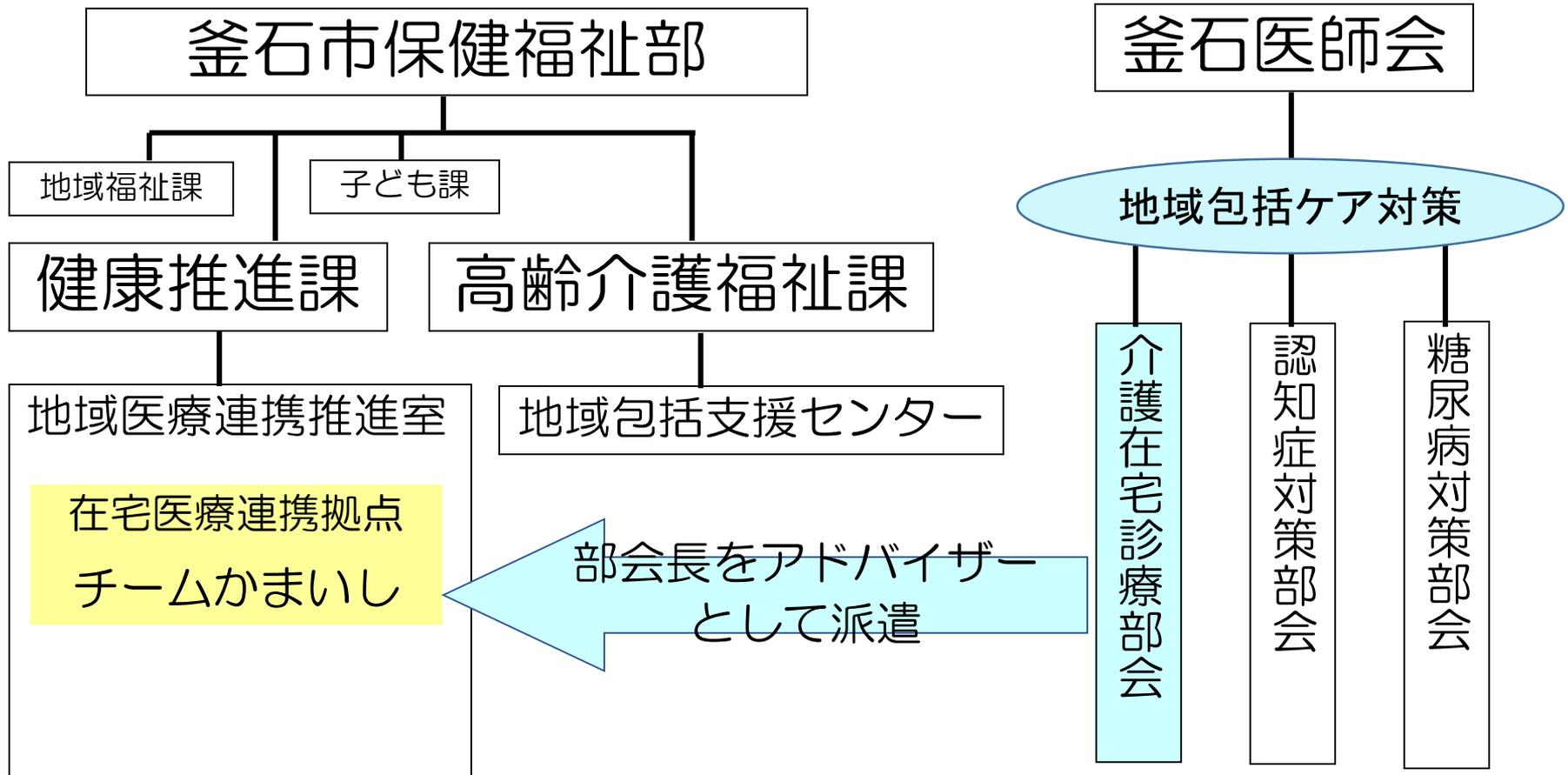


# チームかまいしの設置目的

在宅医療の普及啓発  
と

医療・介護(多職種)の連携促進

# チームかまいし関連組織図



# チームかまいしの業務内容 在宅医療・介護連携推進事業

- ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- エ) 医療・介護関係者の情報共有支援
- オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ) 医療・介護関係者の研修
- キ) 地域住民への普及啓発
- ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携



# チームかまいしの連携コーディネート手法

## ◆ **一次連携**（連携拠点と一職種による連携） ※連携の基盤

課題の抽出と解決策の検討・実践

職種内の気づきと課題の共有の促進

⇒連携拠点が職種内課題解決のための取組みを支援

## ◆ **二次連携**（連携拠点が仲介する複数職種の連携）

一次連携のニーズをマッチングすることで連携構築を支援

例：医科歯科同行訪問研修、多職種合同研修会等

⇒反省会での課題の抽出と解決策の検討・更なる実践へ

## ◆ **三次連携** 地域全体のコンセンサス形成の場

# 《三次連携》 多職種が一同に会する機会

- ◆ 釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会
- ◆ 釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会



釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会の様子60～90人が参加

多職種連携の第一歩  
顔の見える関係  
づくり  
連携に関する  
コンセンサス  
形成の場

**【課題】**  
課題解決のための  
現場レベルの連携  
プロジェクトが進まない



# 各職種における課題の層構造 ～何故、現場レベルの連携が進まないのか～

一次連携で抽出された課題

職種Aの課題



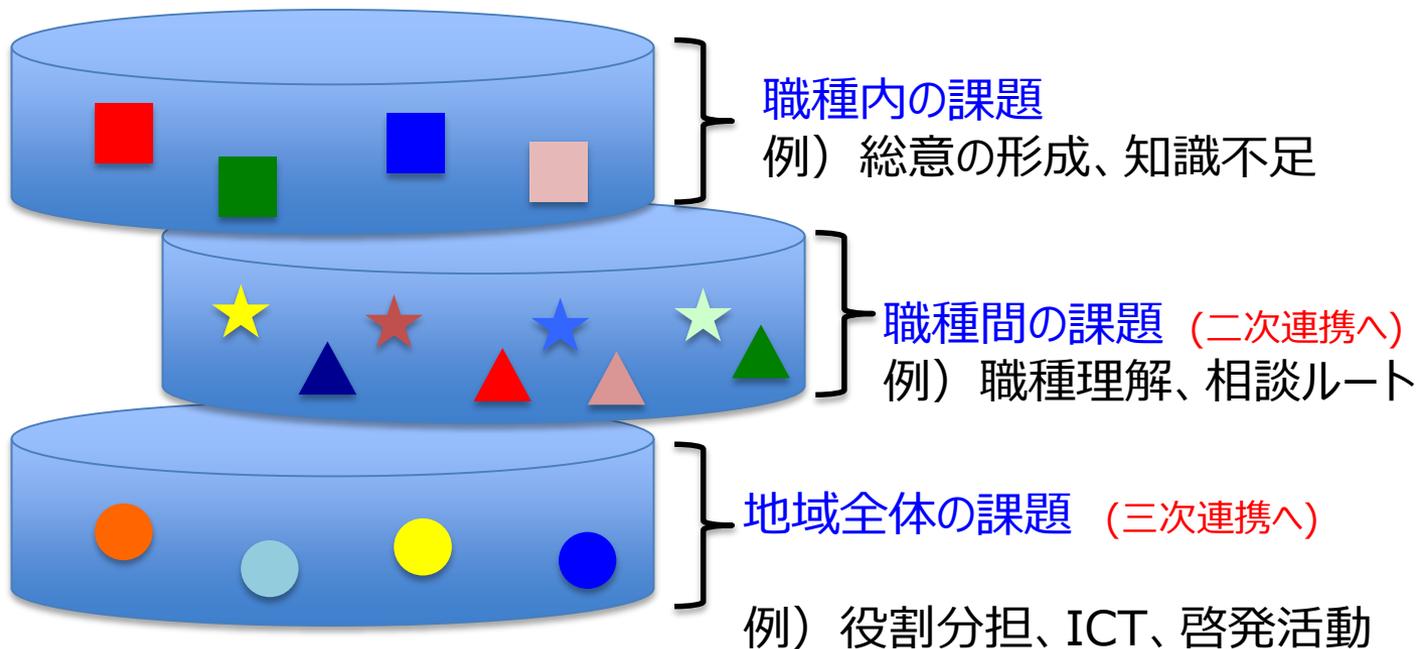
職種Bの課題



職種Cの課題



職種Dの課題



- 層の異なる課題を同一の場で解決することは困難
- 課題の分類と課題内容に応じた場・手法の選択

# 《一次連携》 職能団体との打ち合わせ会

各職種がお互いの事情を言い出せる連携の土壌づくり

歯科医師会と



栄養士会と



病院連携室と



ケアマネ協議会と



リハ士会と



「釜石リハ士会」の設立を支援

訪看ステーションと



# 一次連携のポイント

～連携の土壌づくり～

## ➤ 会議ではない

- 雑談も交えつつ、ざっくばらんに職種特有の事情が話せるように何度でも
- これまで諦めていた思い(課題)を掘り起こす
- 具体的なケースについての相談・意見交換に発展することもあり

## ➤ 職能団体という単位にこだわりあり

- 連携に熱心な事業者・個人単位では、連携が広がらない。公平でない。
- 出席者は情報（課題・解決策案）を団体にフィードバック
- 一職種に絞ることで、他職種の目を憚らず発言しやすい

# 一次連携の効果

～連携の土壌づくり～

## ➤ 職能団体自らが課題に気が付く

→課題の多くは自らの職種、団体、職場にあることが判明

## ➤ 必然的に職能団体自らが解決策を検討・実施へ

→研修会開催など、チームかまいしが支援

## ➤ 拠点にとっては、キーパーソン発掘の場

複数職種間の課題・ニーズは  
チームかまいしのコーディネートにより《二次連携》へ

# 職能団体主催研修への支援・協力

## 【平成25年度】

- ・チームかまいし医科歯科連携推進セミナー
- ・釜石リハ士会主催多職種対象研修会
- ・釜石薬剤師会主催多職種研修会
- ・釜石三師会主催学術講演会



## 【平成26年度】※チームかまいし支援事業として実施

- ・釜石医師会学術講演会
- ・釜石広域介護支援専門員連絡協議会主催研修会
- ・釜石薬剤師会主催多職種研修会



# チームかまいしによる連携支援事業

## 薬剤師会主催多職種連携研修会

日時：平成27年3月5日（木）18時45分

参加者：87名（薬剤師24、他職種63）

講演&ケーススタディ

「在宅患者さんを通しての多職種コミュニケーション  
～服薬支援を通しての多職種コミュニケーション～」

講師：井手口直子氏

（帝京平成大学薬学部教授）



# チームかまいしによる連携支援事業



## ◆釜石医師会学術講演会

日 時:平成27年6月29日(月)18時30分  
参加者:136名

講演:「優しさを伝えるケア技術  
～ユマニチュード～」

講師:イブ・ジネスト氏(ジネストマレスコッティ研究所所長)  
通訳兼講師:本田美和子氏

(国立病院機構東京医療センター総合内科医長)

## ◆釜石三師会学術講演会

日 時:平成27年8月7日(金)18時30分  
参加者:87名

講演:「在宅医師から見た地域包括ケアシステムの現状～多職種の専門性を活用した在宅医療の実践～」

講師:狭間研至氏 (ファルメディコ(株)代表取締役社長、一般社団法人日本在宅薬学会理事長)



一次連携で抽出された  
職種をまたぐ課題のほとんど全てが

お互いの理解不足



相互理解促進のために  
2次連携をコーディネート

# 《二次連携》 連携拠点が仲介する複数職種による連携 ～課題内容に応じた様々な連携手法～

## 【実績】

平成25～26年度医科歯科同行訪問研修 計5回

平成25～26年度医科薬科同行訪問研修 計7回

平成25年度ケアマネジャー & 薬剤師合同研修会

平成26年度滋賀県高島市視察対応

// 病院連携室 & ケアマネジャー意見交換会

// 在宅医療先進地域情報フェスタ2014



同行訪問



グループワーク



意見交換会



共同発表

# 《二次連携》滋賀県高島市視察対応



包括ケア推進本部事務局長



釜石リハ士会事務局長

H26.10.30-31



釜石薬剤師会理事

# 一次連携で抽出された課題リスト

## ケアマネ

第1回ケアマネ連携に関する打ち合わせ会議 (1次連携)

## 病院

第1回連携室連携(県産)に関する打ち合わせ会議 (1次連携)

2014/8/8

退院調整以外の業務(医療ソ  
ニール目、各のほとく、医療費

No	職種	発言者	備考
1	ケアマネ	齋藤	がん相談 院内
2	医師	寺田	ケアマネ
3	医師	寺田	てほし ケアマネ
4	ケアマネ	岩崎	戻るん 院内
5	ケアマネ	岩崎	院は分 ケアマネ
6	ケアマネ	岩崎	ケアマネ
7	医師	寺田	ケアマネ
8	医師	寺田	イスはず ケアマネ
9	医師	寺田	希望はず ケアマネ
10	医師	寺田	
11	医師	寺田	ケアマネ
12	ケアマネ	澤田	と家族に いる。ケア ケアマネ
13	医師	寺田	あまり効 ケアマネ
14	ケアマネ	澤田	ケアマネ
15	ケアマネ	澤田	看護師等)
16	医師	寺田	る。 慢性期病院
17	医師	寺田	ンドが空 5。 慢性期病院
18	医師	寺田	とりあえ 診療所
19	医師	寺田	診療所、歯科
20	ケアマネ	松田	薬局も 薬科
21	ケアマネ	松田	ケアマネ
22	医師	寺田	院内

一次連携のいいところは他の  
職種の目を気にせずに思い  
切り言いたいことが言えること

心づいていること。

22 MSW 病棟看護師の教育をどうするか

# 二次連携 病院連携室 & ケアマネ意見交換会

## 【目的】

相互理解の促進/具体的連携阻害要因の解決  
/職種間のルールやコンセンサスの形成



## 【手法】

顔合わせ & 意見交換

## 【実績】

平成27年2月24日(火)

## 【結果】

共通の課題は人手不足!

自己反省しつつ、相互理解を深める機会となった。新たな課題も抽出

# 釜石薬剤師会との一次連携



実績	
平成24年度	9/3、12/4、1/16
平成25年度	7/30、1/15
平成26年度	7/25、1/29
平成27年度	8/31、9/16



ケアマネの  
顔が分からない。

病院薬剤師と  
薬局薬剤師の連携

どこに相談  
すればよいの？

「訪問指示」の  
処方箋が来ない

ケアカンファレンス  
に呼ばれない

薬剤師の職能が  
認知されていない



# 二次連携

## 医科薬科在宅医療同行訪問研修

### 【一次連携で抽出された課題】

医科と薬科、病院薬剤師と薬局薬剤師お互いに理解不足  
必要性は理解できるが在宅への一歩が踏み込めない。等

### 【研修目的】

医師と薬剤師、薬薬の相互理解推進／在宅医療の連携手法を探る

### 【研修実績】

	薬剤師数	患者数
H25年度	4名	17名
H26年度	4名	35名

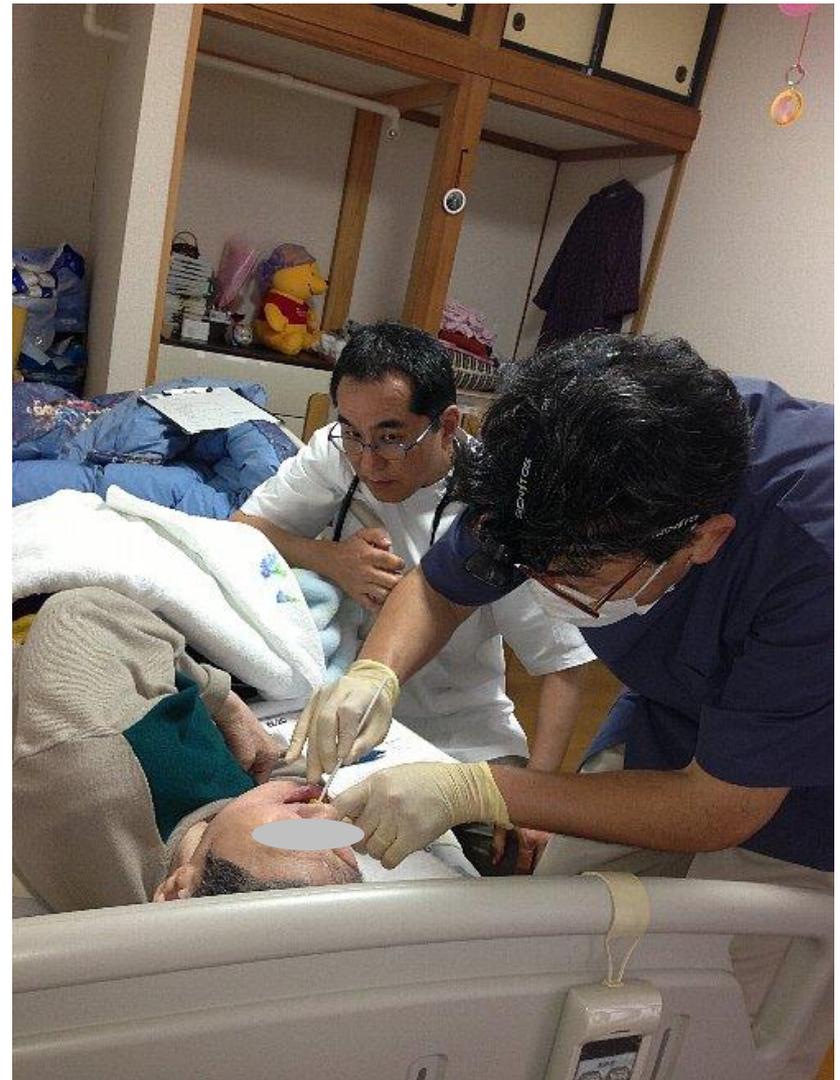


2次連携  
医科薬科在宅医療同行訪問



# 《二次連携》

## 医科歯科同行訪問研修 H25～



# 《二次連携》医科歯科連携の成果物 在宅療養患者の歯科紹介システム

## 訪問歯科診療に関する医科歯科連携フロー



その後、  
医科だけでなく  
多職種に対す  
る連携の窓口  
としても機能

# 《二次連携》医科歯科連携の成果物 歯科往診依頼書と歯科治療依頼スクリーニング

平成 年 月 日

**歯科往診依頼書** (宛先: 釜石歯科医師会 FAX 0193-23-2223)

ご依頼元	事業所名			
	氏名			
	電話	FAX		

フリガナ		生年月日	年齢
患者様名		M・T・S	歳
住所(自宅・施設)	電話		

ご依頼内容

歯が痛い	歯が動く	噛めない	口が汚れている	傷がある
入れ歯が合わない	口が臭う	飲み込みが悪い	むせる	口が渇く
その他( )				

以下、お分かりになる範囲でお答えください

全身疾患	1)	主治医
	2)	
	3)	
認知症	有・無	医療機関名
特記事項		

かかりつけの歯科医師がいる(            先生)            いない  
 見て欲しい歯科医師がいる(            先生)            どの先生でもよい

承諾書    ご依頼に関する患者様の承諾(本人または家族の署名、押印)を願います。

\_\_\_\_\_ 印

**歯科治療依頼スクリーニング**  
 歯科治療の必要性のご判断にご利用ください

<input type="checkbox"/>	歯が痛い
<input type="checkbox"/>	冷たいものや熱いものがしみる
<input type="checkbox"/>	歯に穴があいている、黒くなっている
<input type="checkbox"/>	被せものや詰めものがとれている
<input type="checkbox"/>	歯ぐきから出血したり歯ぐきが腫れている
<input type="checkbox"/>	歯がぐらぐら動く
<input type="checkbox"/>	口臭がひどい
<input type="checkbox"/>	お口の中に白い斑点がある。赤くただれている
<input type="checkbox"/>	入れ歯がない、使用していない
<input type="checkbox"/>	入れ歯を入れると痛い
<input type="checkbox"/>	入れ歯が落ちたり、はずれやすい
<input type="checkbox"/>	入れ歯が欠けたり、こわれている
<input type="checkbox"/>	入れ歯のパネのかかる歯が抜けている、欠けている
<input type="checkbox"/>	入れ歯のあたる歯ぐきや舌や頬の粘膜に傷ができています



**※チームかまいしのHPから  
 ダウンロードできます。**

<http://teamkamaishi.ec-net.jp/>



2次連携  
ケアマネ薬科合同研修会



# 二次連携 ケアマネ薬科合同研修会

## 【一次連携で抽出された課題】

ケアマネジャーの顔を知らない。サービス担当者会議に呼ばれない。  
薬剤師の職能が理解されていない。等

## 【目的】

自分の職能を再確認する。お互いを理解する。

地域包括ケアにおける2職種の共通の目的を確認する。

## 【実績】

平成26年3月10日(月) 計51名参加

## 【手法】

顔合わせ & グループワーク

## 【結果】

お互いに理解不足であったことを認識。ケアマネと薬剤師の連携始動!!

# 二次連携

## ケアマネ薬科合同研修会《構成》

◆研修内容は4段構成◆

### 【GW①自分の職種を再確認】

職種毎のグループに編成。自職種の役割りと可能性について話し合う時間  
**ポイント!** 特に多職種との連携に慣れていない薬科にとって必要な時間

### 【GW②お互いの職種を理解しよう】

ケアマネと薬科が混在するグループに編成。  
GW①で話し合った内容等、相互にアピールする。

### 【講演:地域包括ケア時代の多職種連携のありかた】

目的:包括ケアの支えてとして、共通の目的が「患者の生活を支える」ことを確認する

### 【GW③多職種連携・この地域のために】

GW②と同じグループが話し合っ、発表。

# 波及効果①

2次連携から発展した連携。  
薬科介護福祉連携グループ「かだれ」の誕生!!



# 波及効果②

医療者・介護者・福祉者のための

## ケアカフェ かまいし



「ケア・カフェ」は、まったく新しいコンセプトで行われる、医療者、介護者、福祉者の集まりです。顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所を提案していきます。カフェを訪れるように気軽にご参加ください。

ケア・カフェでは、ジャズの流れるカフェのような雰囲気の中で、コーヒーなどを飲みながら4・5人のグループに分かれてテーマに沿った会話を楽しまします。席替えをして話を深めます。さらに内容を参加者（お客さん）全員で共有して、いろいろな意見を持ち帰ることを目的としています。最後は、自由に交流する時間も設けています。

【日時】平成26年4月23日（水）、  
19:00～21:00、

【場所】館、

【テーマ】たのしみ、

【対象者】ケアに関わる方（医療、介護、福祉）、

【参加費】100円



ケア・カフェのモットーは「相互扶助」です！  
ご協力ください

【持ち物】 ● ネームプレートかネームタグ  
仕事場で使われているものでけっこうです  
● マグカップなどのコップ  
落として割れると悲しいので、2番目に気に入っているものを！  
● ペンかマジック  
横断紙に書くときに使います。  
裏うつりしない綿紙のマジックなどいろんな色を用意するのもOK♪  
● お菓子・スイーツ  
話しながらつまめるものを少量ご持参ください



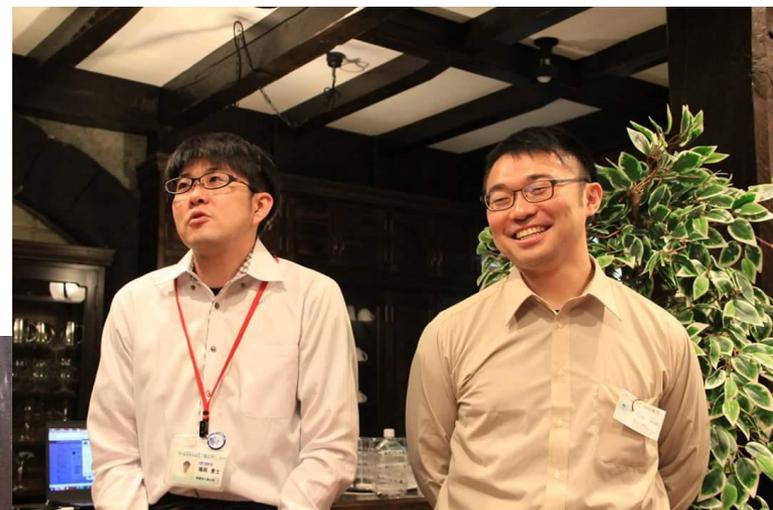
## ケアカフェ開催

主宰者は「かだれ」と同じ(介護職4人薬科2人)アルコールを飲めない人でも参加できるものと考え行き着いたのが、ケアカフェ

# 「ケアカフェ」とは、

カフェを訪れるように気軽に参加できる、  
医療者、介護者、福祉者のあつまりで  
す。

多職種顔の見える関係づくりや日頃  
のケアの相談場所として提案されてい  
ます。



# まとめ

多職種が一同に会する場は必要だが、顔と名前が一致した  
だけでは、現場レベルの連携は進まない!!

## そこで連携拠点が・・・、

- ・一次から三次の階層毎に課題を抽出・分類して各団体にフィードバックすることで、必然的に、団体等自らの解決策の検討や実施を促進
- ・職能団体主催の在宅医療・介護連携の取組みを支援することで、拠点(行政)と職能団体の連携を強化
- ・課題に応じた連携の「場」と「手法」を選定し、ニーズをマッチングする形で現場で必要とされる連携を構築

# ご清聴ありがとうございました。

## 地域連携だより「Face to face」

地域連携だより  
**Face to face**

「釜石市地域包括ケア」

心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。

2月24日、釜石市立釜石高等学校体育館において、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市地域包括ケア」講演会が開催されました。この講演会は、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市地域包括ケア」講演会を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。



講演会には、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市地域包括ケア」講演会を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。

地域連携だより  
**Face to face**

「地域包括ケア推進」

10月12日、釜石市立釜石高等学校体育館において、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「地域包括ケア推進」講演会が開催されました。



講演会には、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「地域包括ケア推進」講演会を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。

地域連携だより  
**Face to face**

「訪問看護士」

10月12日、釜石市立釜石高等学校体育館において、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「訪問看護士」講演会が開催されました。



講演会には、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「訪問看護士」講演会を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。

地域連携だより  
**Face to face**

「釜石市健康市民公開講座」

11月15日、釜石市立釜石高等学校体育館において、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市健康市民公開講座」が開催されました。



公開講座には、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市健康市民公開講座」を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。

地域連携だより  
**Face to Face** 第13号

介護支援専門員と病院連携室との意見交換会を開催しました

2月24日、釜石市立釜石高等学校体育館において、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市健康市民公開講座」が開催されました。



意見交換会には、釜石市立釜石高等学校の有志が主催する「釜石市健康市民公開講座」を開催し、心身、認知力、地域包括ケア推進を目的とした講演が開催されました。